

**種の概要**

陸奥湾から種子島までに分布する。甲幅35mm。河口の泥底に斜めに開口する巣穴を掘っている。甲は横に長い。眼柄も非常に長く、眼の付け根は甲の中央に近い。この長い目を水面から潜望鏡のように出して辺りをうかがう。夏の繁殖期には雄がハサミ脚を上下に動かすウェービングと呼ばれる踊りを行うが、ヒメヤマトオサガニ(その他無脊椎動物Bランク)と異なりハサミを眼の高さ辺りまでしか持ち上げない。成熟した雄のハサミ脚は山吹色となる。

**主要な選定理由**

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	△			△

**県内分布**

西宮市、加古川市、高砂市、姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、淡路市

**県内における生息状況及びその他特記事項**

BからCに変更。阪神地域から播磨西部にかけて、及び淡路島の比較的広い範囲で確認されている。阪神地域の生息域は大阪湾奥部の記録として重要であるが、泥干潟の規模が小さく、個体数も非常に少ない。

**保護上の留意点**

護岸工事、埋め立てが生存の脅威となりうる。本種の生息域は泥深い干潟であり、砂質化すると生息に不適となる。生息域が直接破壊されない場合でも、底質が砂質化することで本種の生息に適さなくなる場合がある。



写真提供：増田修



写真提供：西宮市貝類館